

心 碩

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
 神奈川 碩 会 発 行

現在 2016年10月
 地区 山船
 地区 船
 地区 船
 計 (合)

会員数
 179名
 208名
 43名
 430名

(267号) 者 萃 愛
 行 集 岳 岳
 6年10月 岸 村
 根 編 中

行事予定

◎鎌倉市吟詠連盟吟詠大会

日 時・10月23日(日)
 場 所・鎌倉中央公民館

◎逗子市文化祭詩吟舞発表会

日 時・11月9日9時30分より
 場 所・逗子市立図書館ホール

◎県本部高段者課題講座

日 時・11月20日(日)9時～9時半
 場 所・平塚農業会館
 講習料・千円

吟道手帳、審査課題テキスト持参
 弁当は自前

◎県本部納会、理事会

日 時・11月26日(土)10時～16時
 場 所・県立横須賀労働センター
 (京急横須賀中央駅下車)

準師範認許

(十月一日付)

西村昌岳(桜山A) 福本辰岳(上山口)
 小菅幸風(一色A) 川口喜風(一色A)
 南湖収風(松和)

奥伝合格

(十月一日付)

耕風・田中国穂(種A) 響風・石川十二(種F)
 寿風・今村ふみ子(種) 隆風・篠崎 隆(松和)
 叡風・鈴木一男(種D) 収風・南湖収二(松和)
 香風・福本モト(真澄) 咲風・駒場咲子(種A)
 弘風・栗林義弘(種A) 公風・諸橋公平(種A)

コンクール入賞

(合吟の部・四位入賞) 20名一組

磯村朋子 森はるみ 星野輝子 加藤芳子
 池田敏子 佐藤由紀子 村井知子 嶋津幸子
 安田好子 鈴木美佐子 中山俊江 田中好子
 森久美子 小金美智子 服部きく 米山茂子
 駒場咲子 岡本和江 守谷悦子 中村不二子
 (連吟の部・五位入賞) 3名一組
 内山俊夫 松井正治 一柳良治

許証の伝号について

許証部長 中村 岳 郵

日頃精進を重ねられた甲斐あって、秋の審査に見事合格された皆様、おめでとうございませう。許証担当といたしまして、早速合格者名簿を作成、葉山地区温習会（12月17日）の席で、許証授与ができるようにと、総本部への申請手続きをいたしております。

そこで、許証の不動文字である「伝号」について、最近入会された皆様にといい、再度掲載、お知らせいたしましょう。これは祖宗範木村岳風先生が定められたもので、先生は郷里に聳える靈峰八ッ岳をこよなく愛し、吟道をこの登山に見たてられたものであります。まず、都会の雑踏をはなれようやく山の麓に辿り着く。そこには地下水が地上に湧き出る生命現象から「泉」をもって初伝とし、一歩一歩高きを求め、下界を離れた所を中伝に「山」をおき、更に登るにつれ、視界千里、俗塵を払う天地の境に到りて奥伝「風」とし、いよいよ高く険しく岩石多く、草木稀な高地に及んで皆伝「下位・岳」とし、更に精進と

努力を重ね、岳風流統の奥技を極めた門下生に対し、「上位・岳」を贈って総伝と定められたものであります。

最後に、木村先生の「岳」「風」をいただいた方達は、心新たに岳風流統の研鑽に励み、不断の努力を積んで、後進の指導育成と、斯道の普及奨励に、一層寄与することを誓いましょう。

大野孤山先生のお墓にお参りして

松 和 宇都宮 徳 岳

去る9月4日(日)碩心会秋季昇段審査が終了して、まだ陽が高かったので、予て根岸先生から、大野孤山先生の墓地が、この逗子図書館近くの延命寺にあることを伺っていたので、木村松岳先生と、高野山延命寺を訪ねました。早速二人で、墓所内の大野姓のお墓を、汗を拭きながら捜したところ五家あって、どれが孤山先生のものか判らず、寺務所に行つて尋ねたら、家族らしい婦人が、現在の名義人の名前が判らなければ判らないとのこと。そこで軍用犬「那智号」の碑の付近と聞いてみると申し出たところ、軍用犬の碑は大分前に

靖国神社へ移転して現在は無く、動物愛護慰霊の碑ならば、寺の入口近くにあるとのこと。そしてその近くの大野家の墓を教えて貰いました。

教えられたお墓をお参りしていると、先刻の婦人が走つてきて、「只今住職が帰つたので聞いたところ、そのお墓に間違いない。今日その大野家で年回忌の御供養をして、当主一行が帰られたばかりで、その日にお参りに来られたのは御縁が深いことだ」と伝言して頂きました。改めてお参りして、先生の「舟艇守の尺八」「母の心」の傑作を懐い、特に松井岳洋先生が韻読を符付けした名譜を愛吟している私達碩心会員が、研鑽の結果を発表する場として馴染深い逗子市図書館ホールにごく近い延命寺に、先生のお墓があることに、何か不思議な因縁を感じた次第であります。帰りの道すがら、次の戯歌を作り、木村先生にお見せしました。

炎天下 漸く見つけ 感激す

孤山先生の 墓参なし得て

吟同志 「舟艇守」を 吟じたら

孤山先生の 墓参忘るな

更に帰宅してこの感激を次の七言絶句に纏めました。

拜延命寺大野孤山先生墓有作

(下平声一先韻)

尋延命寺甚怡然 延命寺を尋ねて甚だ怡然

たり

詩伯孤山茲永眠 詩伯の孤山茲に永眠す

同志好能吟玉韻 同志好んで能く玉韻を吟

ず

教場近在正奇縁 教場近在するは正に奇縁

(語 釈)

怡然：喜び楽しむさま、素直なさま

詩伯：すぐれた詩人、詩の大家

玉韻：立派な詩、又他人の詩の敬稱

詩吟を学んで

大船A 岡本 瑞風

「詩吟を始めてみませんか」と近所の先生からお誘いを受けた時、子どもの頃「山川草木」と吟じたのを思い出し、すぐ入会させ

ていただきました。

それから十余年：先生方の熱心な御指導と、吟友との楽しい交わりに支えられて精進して参りました。

吟を学んでいくうちに、詩文のすばらしさに魅せられて、漢詩の勉強をしてみたいと思うようになり、ひとりで唐詩選などを読んでいました。

ちようどその頃、鎌倉の公民館で、漢詩教室が開かれるとのことで、私は好機到来と受講させていただくことにしました。

先生はひとつひとつの詩の作られた時代背景、作者のこと、詩の心情等をていねいに解説してくださり、更に漢詩の作り方についても言及されたのです。浅学非才の私には、作詩など思いも及ばぬことでした。しかし、先生の「ボケ防止に役立ちます」とのお言葉に、おそろおそろ七言絶句らしく、字を並べてみました。それから一週間、暇をみつければ辞典をひもとき、平仄を合わせるためにことばを探して、やっと一詩作り提出しました。

初め辞典をひくことは、面倒な作業に思えましたが、馴れてくると、辞典を読むことの面白さを知りようになりました。この一冊の

中にある情報量の何と豊かなことかと感嘆したのです。そうしてポツポツと漢詩を作るようになりました。

詩吟を学ぶようになったおかげで、私にはいろいろと学ぶことが見出されて、老年と呼ばれる今、退屈する暇もなく、日々心を燃やしています。

秋思 (下平声十一尤韻)

溽暑漸涼氣流 溽暑漸く涼氣流る

窓邊蟋蟀一何愁 窓辺の蟋蟀一何愁う

南天已上鉤弦月 南天已に上る鉤弦月

万里懷思独夜憂 万里君を懐う独夜の憂

(語 釈)

溽暑：むし暑いこと 蟋蟀：こおろぎ

(大意)

蒸し暑さが衰え涼しくなりました。窓辺のこおろぎは何を愁えて鳴いているのでしょうか。南の空にはすでに鉤弦の月が昇っています。遠くに住む友はやはりこの月を眺めているのでしょうか。ひとり友を懐しんでいます。

遊曼陀羅堂

(下平声一先韻)

雨霽晴輝一碧天 雨霽れて晴輝一碧の天

青青草木意欣然 青青草木意欣然

繡毬窈窕狀幽翠 繡毬窈窕として幽翠を妝

杜若玲瓏立爽鮮 杜若玲瓏にして爽鮮と立

憶昔三軍沒異境 憶う昔三軍異境に没し

唯今群衆對芳妍 唯今群衆芳妍に對す

獨登古徑存祠廟 獨り古徑を登れば祠堂存

惆悵哀哀石塔前 惆悵哀哀石塔の前

繡毬あじさい 杜若：菖蒲、かきつばた
芳妍：かぐわしい花 惆悵：悲しむさま

(大意)
雨が晴れて草木が青々とし、心もうきうき
しています。花はそれぞれの美しさを見せて
います。昔を憶えば戦いに武士は命を落とす、

この曼陀羅堂にほうむられたとのこと。人は
知つてか知らずか、美しい花を眺めて楽しん
でいます。独り古徑を登れば祠堂がありまし
た。石塔の前で悲しい戦いの様を思い往時を
しのびました。

体育の日と歩く健康法

10月10日の「体育の日」は、昭和39年の東
京オリンピック開会の日になみ、昭和41年
に制定されたもの。毎年この時季になると、
各地で運動会等が催され、日頃あまり運動を
しない人までが一生涯命走つたりする。

中年以降の、特に老年になつてから体力を
維持するための運動としては、日々の仕事の
中で、できるだけ体を動かすことが大事。

その健康法の一つに歩く運動がある。足は
「第二の心臓」といわれ、歩くことで血行を
促進する効果があるという。そして歩く時は
ブラブラと散歩するような歩き方でなく、サ
ツサツと背すじを伸ばして大股で歩くことが
よいといわれ、私は外出の時など、大股で闊
歩し、大手を振って歩くように努め、忙しい
合間の運動法の一つにしています。

運動で筋力を増すためには、毎日の積み重
ねが大切で、時々思い出したようにする運動
や、サンデースポーツ等はあまり効果がない
といわれる。日常生活の中で手軽にでき、毎
日続けられるような運動をすることがよいと
いう。

(住所変更)

124 坂田昇岳 (新) 横浜市金沢区柴町三二一八二

(真澄) ☎〇四五―七八八―四三一―

650 中川美智子(新) 佐倉市染井野五―四八―四

(沼間) ☎〇四三―四六一―一七五五

(入会)

737 富沢孝子 川崎市宮前区管生丘32―7―202

(真澄) ☎〇四四―九七五―〇五二九

738 田口綾子 横浜市港南区芹谷四―二〇―三

(真澄) ☎〇四五―八二二―六四八三

739 越水悦子 横浜市戸塚区平戸三―三五―一六

(真澄) ☎〇四五―八二三―七一一〇八

740 藤村千織(再) 逗子市桜山六一―九―一三

(若葉) ☎〇四六―八一七―一六六八四

741 太田キヨ子 逗子市山の根三―一―一

(山の根) ☎〇四六―八一七―三三三七八

(岳愛記)